

平成23年度
愛知県臨床検査精度管理調査報告
血液検査部門

刈谷豊田総合病院
臨床検査・病理技術科
藤原 妙

対象項目・試料

【対象項目】

- Ⓟ 血球計数項目
白血球数、赤血球数、ヘモグロビン濃度、
血小板数、ヘマトクリット値、MCV
- Ⓟ 形態項目
フォトサーベイ(血液像・骨髓像)

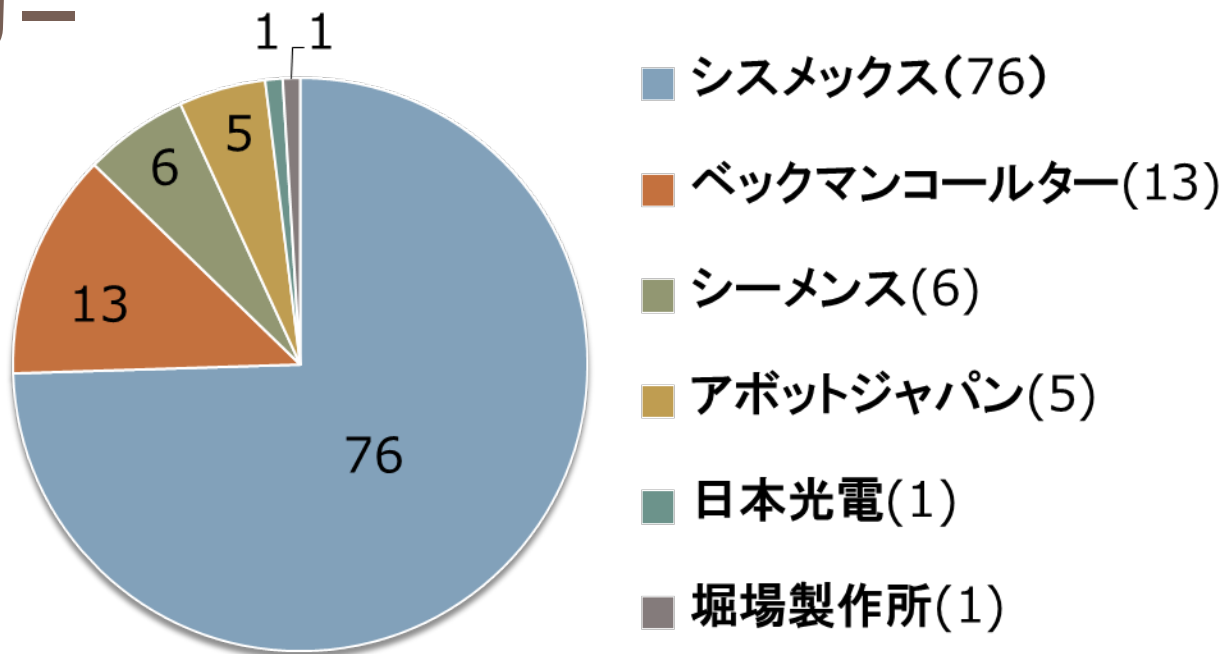
【測定試料】

- Ⓟ 血球計数項目
試料31、試料32:サーベイ用血球(HP-5 Streck社製)
試料33、試料34:ヒト新鮮血
- Ⓟ 形態項目
フォトサーベイ用写真24枚(20設問)

参加施設

	精度管理調査 参加施設数	CBC参加施設数	フォトサーベイ 参加施設数
H23年度	105	102	89
H22年度	107	105	92

使用機器メーカー



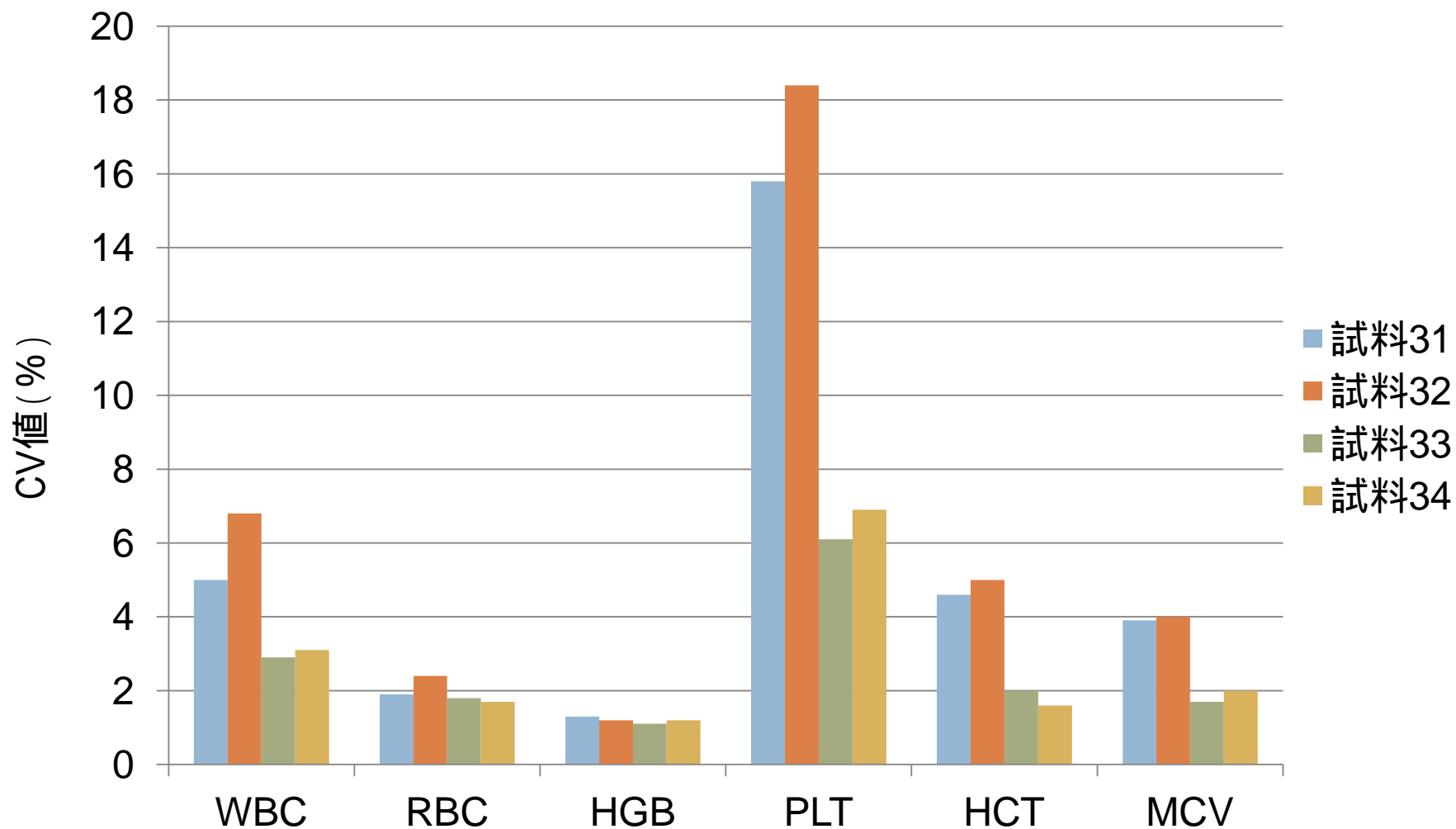
◆使用機種・施設数◆

メーカー	使用機種	施設数
シスメックス	XE-2100,2100L,2100D,5000	32
	XT-2000i,1800i,4000i	25
	KX-21,21N,21NV	6
	XS-1000i,800i	4
	K-4500	4
	SF-3000	3
	SE-9000,SE-9000/RAM-1	1
	poch-100i,100iV	1
ベックマンコールター	LH750,LH755,LH780,LH785	8
	MAXM,HmX,LH500	4
	Gen*S,STKS,Gen*S System2	1
シーメンス	ADVIA120,2120,2120i	6
アボットジャパン	セルダイン ルビー	2
	セルダイン サファイア	1
	セルダイン 3500 , 3700	1
	セルダイン 3200	1
日本光電	MEK-8222,6400 , セルタック MEK-6420	1
堀場製作所	LC-660 , 661	1

◆ 評価基準 ◆

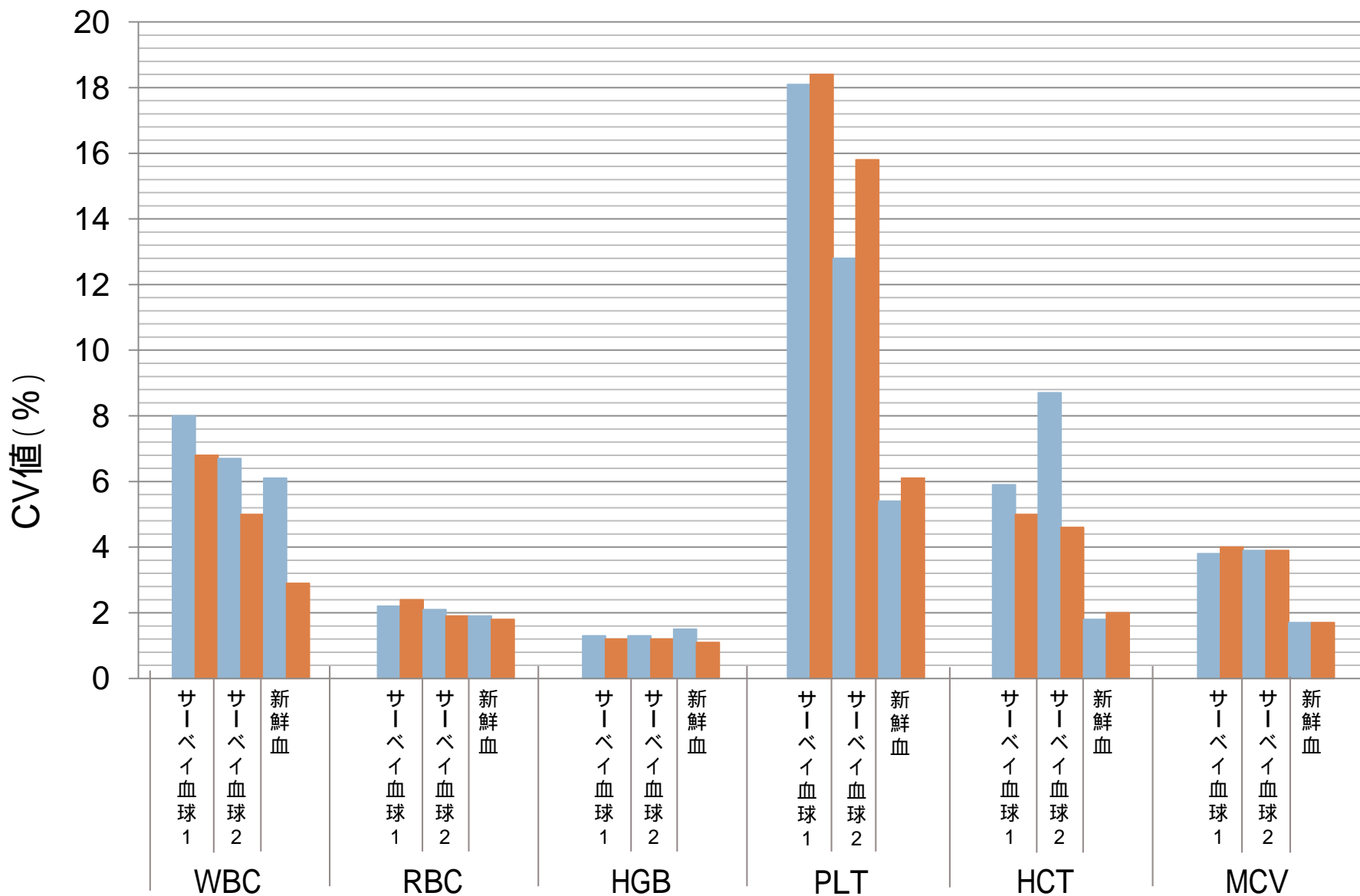
項目	試料	目標値	評価幅の設定（幅）			
			A 評価	B 評価	C 評価	D 評価
白血球数	試料31,32	機種別平均値	±5.9% 以内	±11.8% 以内	±17.7% 以内	±17.7%を 超える値
	試料33,34	全体平均値				
赤血球数	全試料	機種別平均値	±2.0% 以内	±4.0% 以内	±6.0% 以内	±6.0%を 超える値
ヘモグロビン 濃度	試料31,32	機種別平均値	±2.3% 以内	±4.6% 以内	±6.9% 以内	±6.9%を 超える値
	試料33,34	全体平均値				
血小板数	全試料	機種別平均値	±5.2% 以内	±10.4% 以内	±15.6% 以内	±15.6%を 超える値
ヘマトクリット値	全試料	機種別平均値	±2.1% 以内	±4.2% 以内	±6.3% 以内	±6.3%を 超える値
M C V	全試料	評価対象外				

全体集計 CV値 (%) $\pm 3SD$ 1回除去後

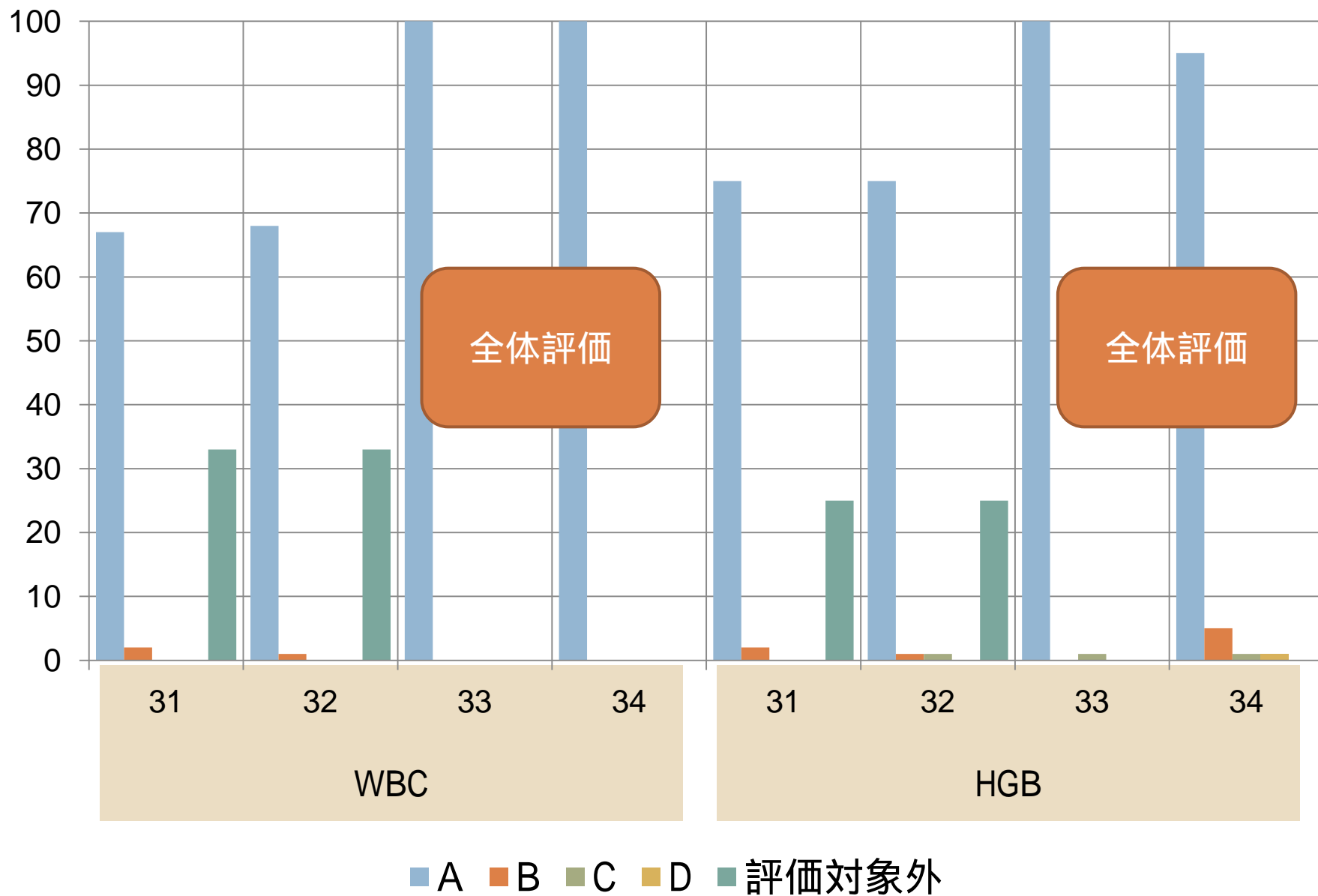


昨年度CV値(%)との比較

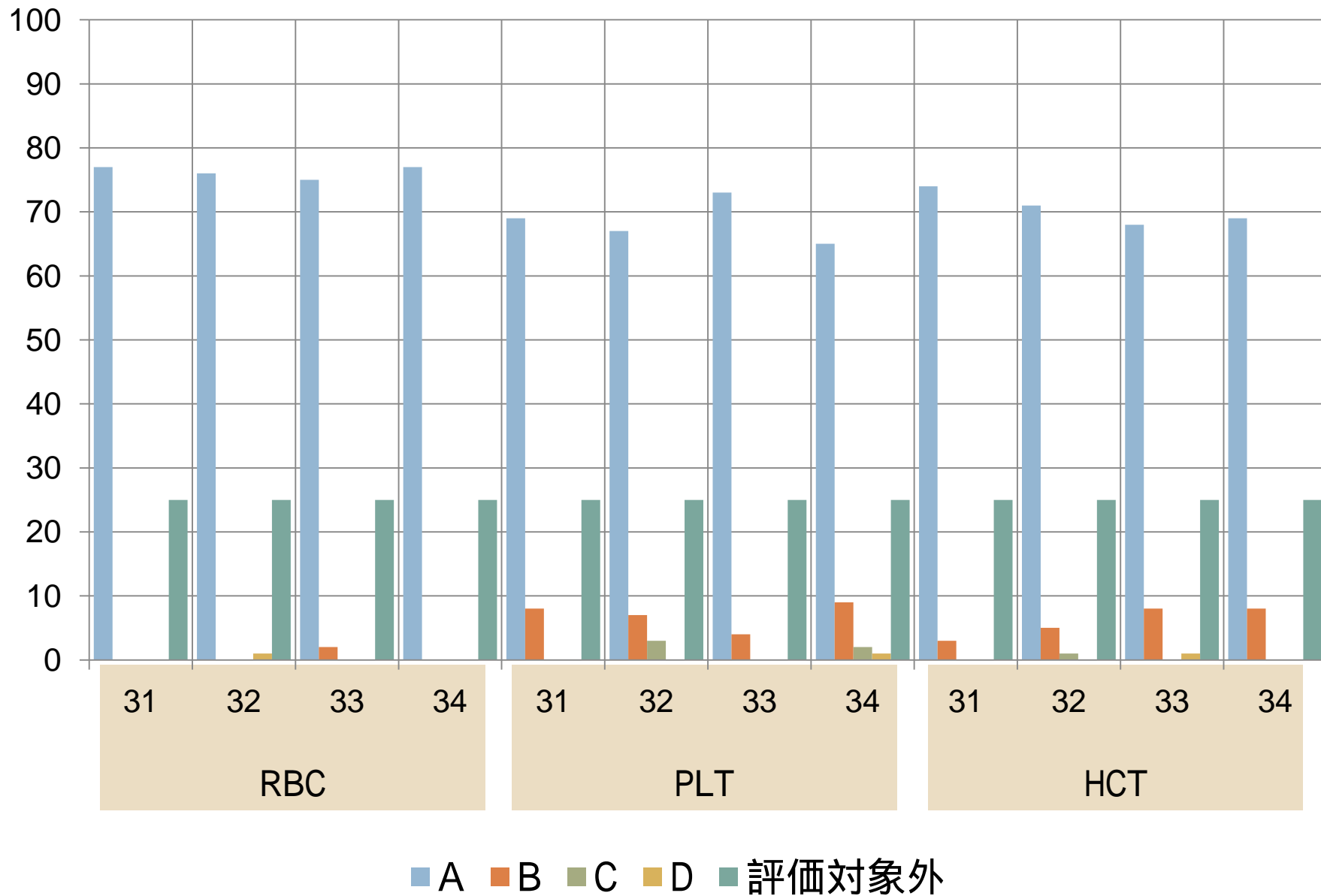
■ 22年度 ■ 23年度



ABCD評価施設数 白血球数・ヘモグロビン濃度

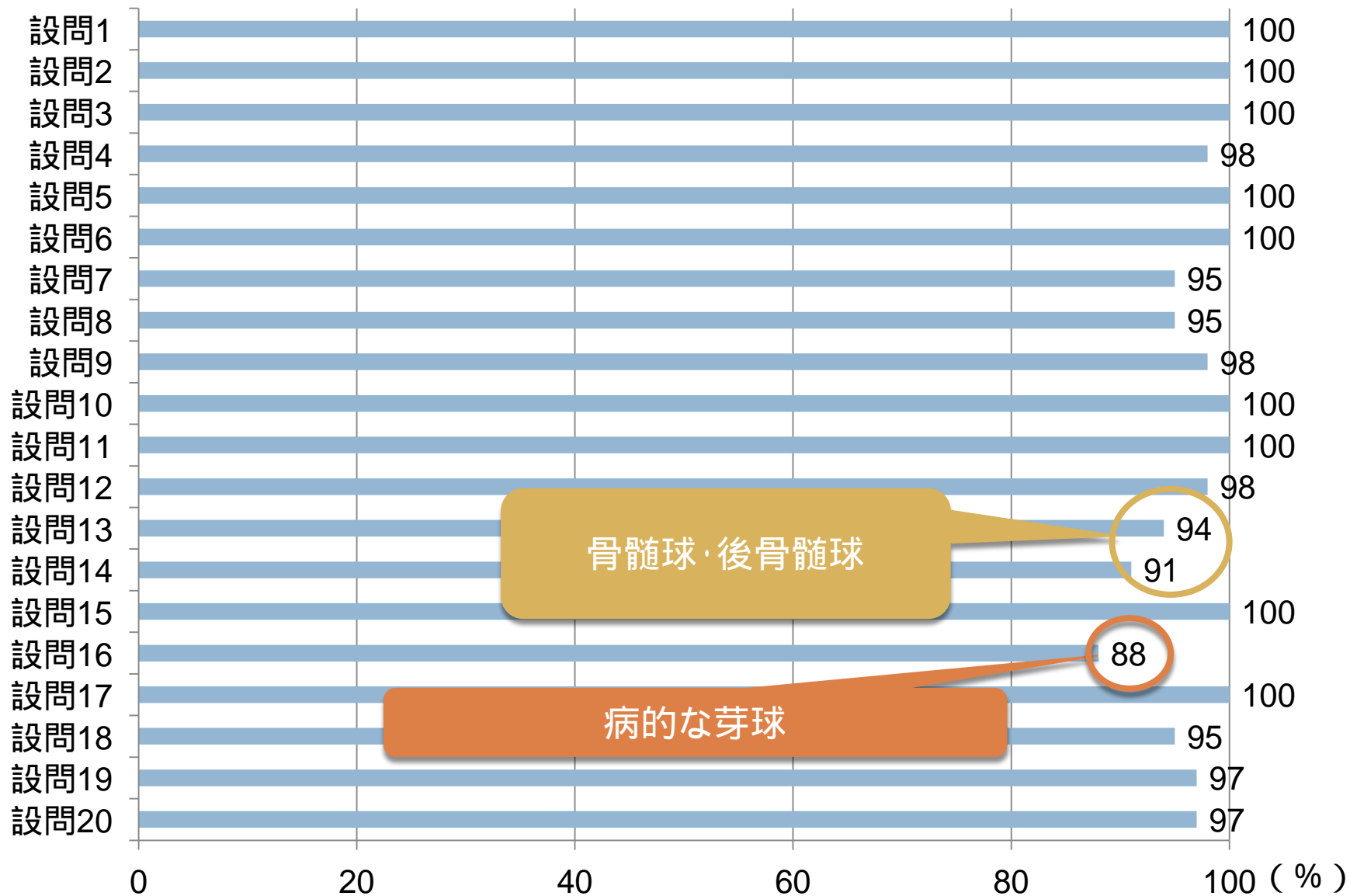


ABCD評価施設数 赤血球数・血小板数・ヘマトクリット値



フォトサーベイA評価

設問19・20は評価対象外設問



まとめ

- 評価は目標値 ± 評価幅による“A”、“B”、“C”、“D”とし、A評価の評価幅は日本臨床化学会で定めた正確さの許容誤差限界 (B_A) を用いた。目標値は機種別平均値または全体平均値とした。
- 試料33,34 (新鮮血) においては全体評価を検討していたが、試料31,32 (サーベイ用血球) に比べ収束する結果であったものの、赤血球数、血小板数、ヘマトクリット値では機種間差を認めたため、機種別評価とした。
- 新鮮血の評価基準や作製方法については検査血液学会等の動向に注目し、よりよいサーベイが実施できるよう努めたい。
- フォトサーベイでは、基礎的な設問を中心に出题し、すべての設問で回答一致率が80%以上と良好な結果であった。